

## ◆目的

本プログラムは、全学類の初年次の学生を対象とし、AIやデータサイエンスの基礎を理解し、社会の変化、とりわけAI技術とビックデータがもたらす可能性、適用事例、来たるべき社会に向け基盤となる必要な知識と能力を習得します。

## ◆実施体制

【統括（設計・改善）】  
教育開発推進委員会  
↓  
情報教育WG



【評価】  
・自己点検・評価委員会  
・外部評価委員会



【授業運営】  
・人文社会学類  
・心理学類  
・子ども学類  
・学校教育学類  
・健康栄養学類

- ・全学的な情報教育の推進を目的として、各学類の担当委員から構成される教育開発推進委員会の情報教育WGにて、プログラムを統括する。
- ・情報教育WGにて、カリキュラムやシラバスの共通化・ルールや教材を整備して提供し、各学類の科目担当者が授業実施する。
- ・授業評価アンケートによる学生の自己評価および学習成果可視化システム（アセスメント）や外部委員会等の意見を参考に、プログラムの評価を行い、授業改善につなげる。

## ◆プログラム構成

### ①AIやビックデータがもたらす社会の変化

- ・コンピュータやICTの進展、ビックデータの時代
- ・第4次産業革命、Society 5.0 とDX

### ②現代社会におけるAIの利活用

- ・レコメンド機能、画像認識、音声認識
- ・機械翻訳、自動運転など

### ③AIと人類・技術

- ・AIとはなにか、AIの歴史、強いAI/弱いAI、シンギュラリティ
- ・AIの種類と特徴、探索、推論、知識工学、機械学習：教師あり/なし、深層学習など

### ④データサイエンス/演習

- ・データサイエンスとは何か、情報とデータの違い
- ・記述統計学、相関関係と因果関係、統計学的判断、点推定と区間推定、予測を行うための分析手法、質的研究
- ・政府統計ポータルサイト e-Stat の活用、統計解析の演習、統計 Dashboard の活用

### ⑤AIやデータ社会がもたらす諸問題・将来に向けて

- ・AI社会にかかわる倫理的問題、AI社会での雇用の変化、SDGsにおけるAIやデータサイエンスの役割

※2022年度シラバスより抜粋

## 学習成果



- ▷ICTおよびAIがもたらす社会の変化を概観できるようになる。
- ▷AIの基本的仕組みに関する知識を習得する。
- ▷多種多様なデータを扱うデータサイエンスの基礎を理解する。
- ▷新たな社会変化に主体的に向き合える思考力および倫理観を身に付ける。

